

平成27年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

三重県

行事名称	第62回文化財防火デー 楠歴史民俗資料館消防訓練
実施期間・日時	平成28年1月26日(火) 10:00~10:30
実施場所	市指定有形文化財(建物) 楠歴史民俗資料館
主催者	楠歴史民俗資料館、四日市市南消防署

■実施内容

訓練の想定

市指定有形文化財である楠歴史民俗資料館内、主屋の釜戸付近から出火したとの想定。

訓練の内容

- ・ 自主防災組織による通報、初期消火、避難誘導訓練
- ・ 公設消防隊及び消防団による一斉放水訓練
- ・ 公設消防隊と消防団の連携訓練

参加者及び役割分担

楠歴史民俗資料館職員	2名：119通報、避難誘導、初期消火
楠歴史民俗資料館保存運営委員会	4名：避難誘導、初期消火
四日市市立博物館職員	4名：避難誘導、初期消火、訓練講評
四日市市南消防署	8名：全体総括、一斉放水訓練、訓練講評
北楠分団	5名：中継送水、一斉放水訓練

特に工夫した点

常勤は1名である為、119通報、初期消火、避難誘導を行うには、保存運営委員会や付近住民の助けが必要不可欠である。平日でもある中、4名の保存運営委員会の方に訓練に参加して頂いた。

問題点・課題

- ・ 同一敷地内において棟が4棟あり、2人の職員で避難誘導をするのは、難しい。
(それによって避難誘導と初期消火に分かれて行うことができない)
- ・ 建物内、建物外に一斉放送設備がある為、その設備もうまく活用したい。
(設備を用いて付近住民にも火災が発生した旨を知らせたい)

その他

本訓練に多数の楠歴史民俗資料館の関係者に参加していただき、貴重な文化財の文化財愛護思想の高揚が図れた。今後も消防訓練を行っていただき、さらなる火災予防意識の高揚を図り、災害による被害の軽減に努めてもらいたい。

訓練風景

